

会長：高橋健二 副会長：森誠司 幹事：嶋田政光 クラブ会報・IT 委員会委員長：縄嶋智徳

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会 場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2025 年 9 月 11 日 第 3536 回 週報第 3536 号

本 日 9 月 11 日	会員数 67 名	対象者 66 名	出席者 43(42) 名	出席率 64.18 %			
前々回 8 月 28 日	会員数 67 名	対象者 66 名	出席者 44(43) 名	出席率 65.67 %	MUP 3 名	計 47 名	修正率 70.15 %

第一回情報集会報告会

テーマ

テーマ：「今のロータリーに望む事」

赤グループ 大井浩嗣幹事 発表者：大井浩嗣幹事

1. 開催日時 2025 年 9 月 1 日 (月) 18 時～20 時半
2. 開催場所 グループのメンバーである吉岡さんにご配慮
いただき「ラスカ平塚 アマルフィ」で開催

3. 出席メンバー
(◎幹事、○副幹事)
高橋会長、嶋田幹事、三荒ガ
バナー補佐、木村さん、秋山
さん、守屋さん、佐野さん、
大井の 8 名で開催 (ご欠席は
大澤さん、永瀬さん、吉岡さ
ん、福島さん)



4. 検討テーマ
- 「今のロータリークラブに望む事」について自由に意見交換

・今回のテーマは、当クラブが 70 周年を迎えるにあたり、
会員 70 名到達をめざしているなか、高橋会長の「組織力
を高めていきたい」との強い想いから設定されたもの
・このため、「組織力」をキーワードに議論を実施
・例えば、10 年前の 2015 年を振り返ると、当時の委員会
出席率は 77%程度と高い状態にあったが、現状は 10pt 程
度下落しており、何が原因でどのような方向性に改善すべ
きであるか、について意見が多く集まった
・「組織力の向上」に向けた意見の 1 つは「①可視化」
・現在、数多くの委員会が設置されているが、いずれの委
員会も「委員長の負荷が高い」ように見受けられる。これ
は、委員会の運営について、一部の継承事項はあるものの、
明確に可視化されておらず、「手順解説書を見れば 6 割程
度は誰でも運営できる状態になっていないことが一因」と
考えられる
・現状も引き継ぎ式を実施してはいるものの、形式的や口
頭伝承ではなく、各委員会が同一フォームで「手順解説書」
があれば、引き継ぎが容易になり、引き継いだ方たちが新
たなエッセンスを加えていけば、次の世代にバトンタッチす
る際に、さらにレベルアップした形での引き継ぎが実現す
るのではないかと

・さらに、こうしたものがあれば、企業会員の方が委員長
になるという可能性も生まれる
・また、例会の時間に、委員会の方向性を話し合う時間を
少し設ければ、別の時間に集まるより、流行りの言葉では
「タイパ」の良い運営につながるのではないかと
・次の意見は「②新会員の増強」
・ただし、新会員は誰でも良いわけではなく、「価値観を
共有できる方であること」が重要。お声掛けの前に「あま
りに酒癖が悪い人はだめでしょ」といった、大きな方針を
定めておくことは重要ではないかと
・また、入会後も価値観を合わせていくために、2・3 年
先に入会した先輩が新会員に教えるような「メンター制度」
を作っても良いのではないかと。こうした人材育成の仕組み
は、企業会員の方がノウハウを持っている可能性があるの
で、学ぶ機会を設けても良いのではないかと
・価値観を共にする方が集まることで、やりたいこと、やる
べきことが近くなり、結果として、出席率の向上にもつな
がる可能性がある
・最後の意見として、「③新たなことを創造する」
・平塚のなかで我々は歴史あるクラブであるが、それが最
先端のクラブとイコールではない。地区に目を向けると、
我々が井の中の蛙に見えることもあるとの意見も
・例えば、複数のロータリーを経験された企業会員の方か
ら他のクラブでの好事例を報告してもらうとか、例会で 3 分
間スピーチを実施して、会員の人となりより詳しく知るこ
とで、新たな交流を生み出す等、「創造」することが「発
展」につながるのではないかと
・長くなりましたが、このような大変活発な意見が出て、
かつ、今回で披露できないようなお話も色々あったことか
ら、「過去イチ楽しい情報集会」ということで締めくくらせ
ていただきました
・最後に、一点だけ。木村会員からの伝言です。…

以上

橙グループ チャン・バン・ティエップ幹事
発表者：チャン・バン・ティエップ幹事

テーマ：「今のロータリークラブに望む事」
開催日：2025 年 8 月 23 日 (土)
開催場所：『2 時からビール どん』 紅谷町

出席者：山森 啓太会員、成瀬正夫会員、杉山 昌行 会員、小野学会員、元吉裕員 会員、山口 紀之 会員、チャン・ティエップ会員 計 7 名



橙グループの情報集会は 8 月 23 日（土）、紅谷町にて開催されました。
以下のポイントで活発な議論と意見交換が行われました。

1. 会員増強・若手加入

平塚ロータリークラブは『厳しい』、『レベルが高く入りづらい』と見られてしまい、若い人が他ところに流れるケースがあります。
実際にはそうしたことはなく、『楽しく活動できるクラブ』であることをもっと周知して、若手が参加しやすい雰囲気づくりや工夫が必要なのではないかという意見がありました。

2. 事業の精査と PR

- ・事業が多く、新しい事業を始めるなら古い事業の精査・整理が必要です。事業の数・負担が増えすぎると、結局、しっかり実施して「楽しく取り組みできる事業」が減ってしまう という懸念があります。
- ・70 周年に向けた企画も多いが、継続できるのかの心配もありました。
- ・「ロータリーは何をしているのか」が外部に伝わりにくい現状があります。クラブの看板、売りとなる事業があると、新規入会希望にもつながると考えられます。
- ・広報活動が弱く、SNS（Facebook など）の活用や口コミの強化が必要です。

3. 例会の柔軟性

- ・昼の例会に加え、今まで夜間の例会の意見がありましたが、週末（土曜日）の例会も検討すべきという意見も出ました。
- ・かつては「夜は出にくい」という事情もあったが、現在は状況が変化、夜間・週末例会は参加率が高く、今後も有効と考えられます。
- ・一方で「例会の回数が多い」との指摘もあり、週 4 回から 2 回に減らし、その分出席義務を強めるという意見もありました。

4. 伝統と寛容のバランス

70 周年の歴史を持つクラブとして、ゲストに「やはり平塚ロータリークラブは違う」と感じてもらえる伝統・格式も大切にすべきであります。参加しやすさと伝統・格式の両立をどう実現するかが課題となりました。

5. 新入会員の育成

新入会員が早く活動に溶け込むために、クラブ・グループ・地区の基本組織やルールを学ぶ新人勉強会・オリエンテーションの実施が望まれます。

まとめ

橙グループでの議論を通じ、今後のクラブ運営においては以下の 3 点が特に重要であることが確認されました。「魅力発信」「参加しやすさ」「伝統と変化の両立」これらを軸に、クラブの維持・発展を図っていくことが求められます。

黄グループ 和田克己幹事 発表者：和田克己幹事

テーマ：「今のロータリークラブに望むこと」

出席者：升水一義様、高橋賢二様、片野之万様、森誠司様、今村佳広様、前田孝平様幹事：和田克己

1. 例会のあり方の見直し（開催頻度、内容、場所の改善）

・年に数回、「合同例会」「友好例会」「夜間例会」などを

開催し、会員間の親睦を深めるとともに、例会の多様性を高めたい。



○ **友好例会：**目的は親睦・交流であり、他のクラブと友好関係を築くために開催される。例としては、姉妹クラブや国際的な提携クラブとの例会が挙げられる。

○ **合同例会：**共通の議題や活動のために、複数クラブが合同で例会を開催する。例としては、地区の研修会や共催イベントがある。

- ・楽しくロータリーライフを送るため、会員同士の交流の場を積極的に設ける。
- ・若手会員とベテラン会員が交わる機会を意識的につくる。
- ・席が固定化されがちなので、世代間交流が自然に生まれるような席の工夫が必要。
- ・新会員の卓話は、現状よりも早い時期に実施できるようにする。
- ・著名人など、ロータリーでなければ呼べないような講師を招く工夫。
- ・出席することで「学び」や「成長」を実感できるような例会内容が求められる。

2. クラブの若返りに向けた取り組み

・オープン例会の開催

非会員の参加を可能にし、ロータリーの雰囲気や活動を知ってもらう機会をつくる。団体紹介や活動報告などを通じて、外部の人にも興味を持ってもらう。結果として会員増強や現会員の意欲向上につながる。

- ・若手会員の加入に向けて、取り組み内容やクラブの魅力を明確に打ち出すことが重要。

3. 奉仕活動の魅力向上

・他クラブの奉仕活動を例会卓話などで紹介し、活動のヒントとする。

4. デジタル活用とクラブの未来

・コロナ禍で行ったオンライン対応（メッセージ配信など）を踏まえ、今後もオンライン視聴やデジタル活用を進め、参加のハードルを下げたい。

5. 会員の参加意欲を高めるには

・「趣味」や「笑い」を取り入れることで、参加へのモチベーションを高め、「楽しい」「意義ある」と感じてもらえる例会を目指す。

6. その他の意見

- ・危機管理体制（災害・事故・事件・ハラスメント等）の明確化と意識向上が必要。
- ・「同好会」の数を増やす（例：旅行、車など）。

- ・平塚に工場のある大手企業に入会を打診し、クラブの基盤強化を図る。
- ・70 周年に向けた会員の意識を高める。

緑グループ 加川 淳幹事 発表者：加川 淳幹事

日時：8 月 29 日（金）18 時 45 分～

場所：キッチンミラノ

出席者：相原会員、青木会員、江藤会員、柏手会員、新堀会員、関口会員、加川

緑グループと聞いた時、
ピンとききました。
緑といえば、グリーンサウ
ナ、キッチンみどり蒸し…。
嶋田幹事の粋な計らいに感
謝いたします。
じゃ、会場はもうここしか
ない。それは、キッチンミ
ラノです。

かつて紅谷町歓楽街にあっ
た深夜まで営業していた洋食屋さんですが、だいぶ前に
移転し、現在は錦町の住宅街でひっそりと営業しており
ます。



開催日は 8 月 29 日金曜日。緑グループのメンバー 11 名
中、7 名の出席となりました。

さて、今回のお題は「今のロータリーに望むこと」。
なんか広すぎるので、次の 5 つ小テーマに分けてご意見
を伺うことにしました。

- ①例会について望むこと
 - ②事業、催し物で望むこと
 - ③会費、募金について望むこと
 - ④組織運営について望むこと
 - ⑤その他
- でございます。

最初のお題、①例会について望むこと。

新会員の卓話をどんどんやってほしいという声が多か
ったです。先月の卓話で相原さんが、「1 年以上前に入会
しました」と聞いて、私、ちょっと油断しておりました
が、先輩方のご意見としては、入会後半年以内が理想の
ようです。

また、もっと夜例会を増やしてほしい、というご意見が
ありました。普段日中に出席できない方も夜なら出席し
やすいのではないか。3 か月に 1 回くらいは夜間例会が
あっても良いのではないか。というご意見がありました。

②事業、催し物で望むこと

事業として代表的なものは、企業訪問、少年少女マラ
ソン、緑化祭り。対外的なものは重く、対内的なものは
やりやすい。新しい事業として去年から国際奉仕が始ま
ったが、平塚は国際奉仕関連の事業はよわい。

平塚ロータリークラブは 60 年を超えているクラブであ
り、いろんな歴史があるので、見直すことが難しい。し
かし、完成度は高い。

《この辺りから、意見交換というよりも、新会員へのレ
クチャーという趣きになりました。》

IM！ガバナー！とかいう専門用語も飛び交うようになり
ます。

IM＝インターシティーミーティングとは、第 8 グループ
が集まって、1 つ課題をもって勉強をするミーティング。
三荒直前会長は、それを統括するガバナー補佐であり、
各ガバナー補佐の中から競争があり、選ばれし方がガバ
ナーとなる。三荒さんにはその可能性がある、と教えて
いただきました。

③会費、募金について望むこと

事業の実施に必要なことだが、数年前に予算を下げた。
その結果、月 4 回の例会開催では資金がギリギリ。赤字
になった事業もある。その時は繰越金で補填した。
ロータリーは奉仕団体なので、募金が基本スタンス。

④組織運営について望むこと

《このあたりになると、関口直前幹事が仕切りはじめ独
壇場の色合いが濃くなっていく。》

こんなやりとりがありました。

青木直前出席委員長「委員長を決める前に、できるか
できないかを聞いていただけませんか？」

柏手さん「ロータリーでは“はい” “YES” “よろこ
んで” の答えしかない。」

関口直前幹事「1 年間やってみてどうでしたか？」

青木さん「やって良かったです。委員会メンバーのなか
でやりくりしたり、やってみたらなんとかなりました！」

関口直前幹事「委員長は、運営していく上で、早く慣れ
た貰いたいとか、こういうことをしてもらいたいとかを
考えて人選しています。新会員には委員会の運営を学ん
でもらいたい。まずはスマイル委員会、出席委員会で学
んでもらう。そしてその次につなげる。

運営側としては、是非引き受けて、よりロータリーをしっ
てもらいたい。

大変だけど、楽しみながら～。深くかかわっている会員、
理事会メンバーは見ていくものがちがってくるので。」

一同 ははあ。みたいな。

⑤その他

出席率アップのために、ドレスコードをもう少しゆる
くしても良いのではないかな？

上着なし OK。バッジさえつけていれば作業着でも OK。

【当日のメニュー】

サラダ、ハムのおつまみ、エビフライ、ナポリタン、ミ
ラノライス、ハンバーグ

節目の年度は、過去を振り返り、未来を描くには最高
の好機と考えます。メンバー全員の協力及び、早期行動
が成功の重要な鍵になると思っております。

青グループ 小澤敦史幹事 発表者：小澤敦史幹事

「青」グループの情報集会は、8 月 19 日（水）18 時 30
分からマーレユウヒガオカにて、常盤卓嗣会員、白石慎太
郎会員、清水孝一会員、飯塚和夫会員、米山俊二会員、
小林誠会員、又城雅弘会員、笹尾茂樹会員、杉山利行会

員、小澤敦史会員計 10 名の出席で行われました。

今のロータリークラブに望む事というテーマについて、飲食をしながら、闊達な議論が展開されました。

・クラブの成熟・発展の視点 (内向き)

クラブの成熟、発展の視点から、昼の例会だけではなく、夜の例会の回数を増やすことで、多様な会員の出席が望めるのではないかと、土日等のイベントが少ないように感じるのをそれを増やしたら交流を深められるのではないかと、女性会員がまだ少ないので女性会員が入会しやすい雰囲気作りが必要ではないかといった意見が出ました。

また、経験豊富な会員からは、ロータリーは卒業がないのだから、過去会長等の役職を担っていただいた先輩方のための役割をより作って、その経験を還元していただく機会を増やすべきではないかという意見も出ました。

さらに、これからガバナーを輩出することも重要で、そのための組織作りが必要ではないかという意見も出ました。

・クラブの価値発信の視点 (外向き)

一方、クラブのやっていることをより外に発信していくことを意識していくべきではないかという話があがりました。ロータリークラブは奉仕団体であり、どのように地域、まち、社会に貢献できているのかを地域の皆様に知っていただくことが重要だと。

その話と並行して、昨今、会員行きつけの飲食店が相次いで閉店をしている、まちづくりの観点からも残念だという声もあがりました。

たとえば、そういった飲食店を復活させるようなプロジェクトを事業として行って、その事業を対外へ発信していくことも面白いのではないかという話へと展開し、大変盛り上がる情報集会となりました。

紫グループ 芦川栄子幹事 発表者：芦川栄子幹事

今のロータリークラブに望むこと

ロータリークラブの中核を成すのは奉仕、友情、多様性、リーダーシップを大切にする会員であり、奉仕を目的とする国際的団体です。それ故、先ずは所属している地区グループにおいて事をよりスムーズに運ぶ為に、今感じていることを率直に話し合いました。

1) 昼間、出席が難しい方のために夜の例会を増やして頂きたい

2) 月に 4 回は少しきついの意見も

3) 最近、出欠の連絡をしない方が多い。以前はあまり見受けられなかった。その解決策としてライングループを作ること、しかしメールだと相手の気持ちが上手く伝わらない。人とのつながりを大切にしたいとの意見もでした。

4) マイロータリーの登録が進んでいない。

5) 席が固定化している。より多くの方々と知り合いになれば、出席率も上がるのではないのでしょうか？



6) 卓話は新会員だけではなく永く在籍されている方の卓話もお聴きしたい。

7) そして、改められたことによってどのように変わったかの結果報告もしてほしい。

9月7日地区大会でアメリカの心理学者マズローの欲求5段階説を話してくださいました。人間の欲求は5つの断層に分かれており、低次の欲求が満たされると次の欲求が生じるというものです。まずは生理的欲求（食欲、睡眠欲など）、次は安全欲求（危険から守られる）、社会的欲求（社会に所属したい）、承認欲求（他者から認められたい）、最終的には自己実現の欲求（理想の自分になろうとする）、それはロータリーが目指していることなのではないでしょうか？

最後にロータリークラブの理事長であられました裏千家の前家元千玄室様が亡くなりました。102歳でした。茶道を通して平和を願っていらっしゃいました。ロータリーにも通じていると思います。ご冥福をお祈りいたします。

紫グループ 幹事 芦川栄子

幹事報告

◎9月6日7日の両日無事に地区大会が終了いたしました。

お忙しい中、本会議に多くの会員にご出席頂き感謝申し上げます。

本会議の中で成瀬会員と升水会員の長寿会員表彰、三荒AGのメジャードナー表彰、また、先日回覧いたしました24-25年度三荒会長年度のクラブ優秀賞を頂きました。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

◎9月27日(土)14時より第一相澤ビルにて地区主催の奉仕プロジェクトセミナーが開催されます。

清水裕会員と小林誠会員が出席されます。

◎11月16日(日)に第60回神奈川県ロータリアン親睦テニス会が開催されます。

会場は茅ヶ崎市香川の湘南ローンテニスクラブ
12:40集合です。参加費はロータリアン7,000円、家族、ゲストは5,000円です。当クラブの山森会員が幹事を務めていらっしゃいますので、多くのご参加をお願いいたします。後程、山森会員からもご案内があります。

◎地区大会記念親睦ゴルフコンペについて

11月26日(水)レイクウッドゴルフクラブで開催されます、地区大会記念親睦ゴルフコンペのご案内を先日おしらせいたしました。参加者がまだ少ないので多くの参加をお待ちしております。ロータリー会員、そのご家族が参加できます。締め切りは10月9日までですが、早めに事務局までご連絡ください。

◎RI公認の「第23回ロータリー全国囲碁大会」のご案内です。

11/08(土)に東京・市ヶ谷の日本棋院本院で開催されます。碁盤を通じて国際交流と親睦を図る会です。参加ご希望の方には詳細をお知らせいたしますので、事務局までご連絡ください。

◎例会スケジュールについて

次週9月18日(木)の例会とその翌週の9月25日(木)は祝日週により休会となります。よって9月の例会場での例会は本日1回です。次の例会は10月2日(木)です。

委員会報告

○雑誌委員会 飯塚和夫委員長

ロータリーの友9月号の見所を、紹介させていただきます。まず3ページをご覧ください。RI会長になられましたフランチェスコ・アレツツォさんの挨拶文が出ております。今回は、「教育を通じた平和」という題名で、今月が「基本的教育と識字率向上月間」ということで、そういった活動をしましょう、ロータリーのメッセージ「よいことのために手を取りあおう」、メンバー・組織・地域社会と手を取り合って、持続的な奉仕活動をしていきましょう、ということが書かれております。それから、アレツツォ会長の経歴につきましては、5ページ以下に出ております。自己紹介的なことが書かれております。イタリアのシチリア島のご出身で、歯医者さんをされているそうです。その他、2780地区の皆様の活動ということで、48ページ、秦野中ロータリークラブの関野様が投稿されています。ヤマユリを育てるという活動を、地区の補助金を使って十数年やっておられたということですが、今年は折角育てたヤマユリの球根を200本取られてしまったという残念なことが書かれております。54ページ、鎌倉ロータリークラブの久保田様が、お菓子屋さんということで、小田原の「ういろう」の話しを、楽しく紹介されております。

○姉妹クラブ委員会 元吉裕員副委員長

前々からご案内していると思いますが、6月の13から17日、台湾で国際大会が行われます。宿と飛行機等々、なかなか取れない状況になってくると思いますので、早めにご参加表明をしていただきたいと思います。前田委員長の方からご案内を出しますので、ぜひ多くのご参加をお待ちしております。

○プログラム委員会 松本崇委員長

10月の例会のプログラム、卓話者の発表をさせていただきます。10月2日が、スマイルボックス委員会によるスマイルボックスについての卓話、今村委員長はじめスマイルボックス委員会の皆様によります。10月9日が、ガムリさんによる米山奨学生の記念卓話となります。10月16日は、休日週のため例会休会になります。23日は、平塚青年会議所の安藤理事長による卓話をしていただきます。最後10月30日は、第5週になりますので休会となります。

○地区会員増強委員会 山森啓太会員

11月の16日曜日、2590地区と2780地区の合同の、神奈川県ロータリアン親睦テニス会を開催されます。今回第60回ということで、1985年から続いているテニスの親睦会で、ロータリアンに限らず、ロータリアン以外の方々にも多く参加いただいております。場所は、茅ヶ崎の香川にあります。湘南ローンテニスクラブで、詳細に関しましてはご案内を目通しいただければと思います。



誕生日祝いを高橋 会長より受取られた
塚田会員(左)、吉岡会員(右)

今週のお祝い

誕生日祝い・・・前田孝平会員、塚田順朗会員、
江藤博一会員、柏手茂会員、
山口紀之会員、吉岡正紀会員
結婚祝い・・・中野豊会員、縄嶋智徳会員、
福島大介会員、清水孝一会員、
豊川忠紀会員、佐野正敏会員
入会記念月・・・飯塚和夫会員、関口幸恵会員、
嶋田政光会員、佐野正敏会員

メイクアップ (MUP)

3名

清水裕会員、新堀将一会員、米山範明会員

本日のスマイル

25名+6グループ

ゲスト

0名

ビジター

0名

卓話・行事予定

9月18日(木) 休日週につき休会
9月25日(木) 休日週につき休会

市内例会変更

現在ございません

